

研究 主題	多様な考えを認め合う児童の育成を目指して ー学級活動における合意形成までの話し合い活動の工夫を通してー
----------	--

第5学年学級活動学習指導案

指導月日 令和2年10月5日

所属校名 富谷市立日吉台小学校

氏名 井間 律子

1 題材名「学級の生活を振り返ろう」

2 題材の目標

学級の生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合うことを通して、相手の思いを理解しようとして聞いたり、相手を意識して自分の思いを伝えたりして合意形成を図り、実践しようとする意欲を高める。

3 題材観

本題材は、小学校学習指導要領(平成29年告示)特別活動の内容(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」の「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」を受け設定した。Ⅰ期は、議題や話し合いの論点を教師が提示して話し合い活動を行った。児童同士、出会って約1か月が過ぎた時期の実践であったが、示された議題について真剣に話し合い、自分たちに取り組みそうな内容について集団決定することができた。毎月実施している学級力アンケートが10月で4回目となり、児童は学級の課題の変容を捉えることができるようになってきた。学級力アンケートのチャート図について、これまでは数値が下がっている項目に注目することが多かったが、「学級のよいところを伸ばすためには」といった、新しい目標を目指そうとする児童が増えてきた。そこで、Ⅱ期は学級がさらにパワーアップするために実践できることについて話し合う。児童一人一人の身近な課題として、学級をよりよくするために全員で取り組める内容を考えて話し合うことにより、必要性を感じられる活動ができる。また、話し合い活動から実践まで、提案理由に合った活動になるよう児童に意識させるとともに、相手を意識した伝え合いや聞き合いの活動に取り組ませることができる題材と考える。

4 児童の実態〔第5学年2組36名〕

本学級は、男子18名、女子18名、計36名の学級である。国語と算数以外の授業については、交流学級として、難聴学級在籍の男子1名、女子1名を加えた38名で学習している。児童の実態としては、Ⅰ期の実践から、「友達の意見の良いところを考えながら聞くことができた」と感じている児童が、71%、「自分の意見を相手に伝えることができた」と答えた児童が50%であった。聞くことに関しては肯定的に捉えることができる児童が多く、「相手を意識して聞くことができていく」のポイントが高かった一方、伝えることに関しては、学級の半数の児童が意見を伝えることができていないと感じていることが分かった。また、児童の振り返りノートには「手を挙げて発表することができなかった」「手を挙げる勇気がでなかった」といった記述があり、挙手をして発表することが、意見を伝えることと捉えている児童もいることが分かった。Ⅰ期の実践では、交流タイムなどでほとんどの児童が意見を交流している姿が見られたことから、Ⅱ期では、伝える活動についての児童の認識を広めさせ、自分の意見を話すことに消極的な児童に対して、自信を持たせるような支援が必要であると考え。また、「パワーアップの方法を考えることができたか」の設問に対して84%の児童が「できた」と回答しており、事前に話し合い活動シートに考えを書いて参加したことで、自分の考えを持って話し合い活動に取

り組めたと思われる。どの児童も平等に合意形成に関われるように、児童一人一人が考えを持って話し合い活動に取り組めるよう、手立てを工夫していきたい。

5 指導観

I期の実践では、発言を聞くときに、「相手が、いいね、なるほど、など肯定的な聞き方や相づちをしてくれたことで、自分も安心して話し合いに取り組めた」という記述が児童の振り返りノートから見られた。II期も、相手の意見を理解しようとして聞くことについての指導や意識付けを継続していきたい。また、伝えることについて、交流タイムや、席周辺の児童との簡単な意見交換など、様々な場面で、伝え合いや関わり合っていることを自覚させながら、消極的な児童にも自信を持って取り組めるよう声掛けや支援を工夫していきたい。I期の話し合いでは、ある児童から「楽しいか、楽しくないかで話し合いが進んでしまっている」という、提案理由を振り返った意見が出された。このことを受け、II期は、第1時において、学級力アンケートの結果から5年2組が何について解決するための話し合いをするべきか議題を決め、それを受けて第2時（本時）で、話し合い活動を行う。このことによって、児童一人一人が、論点を共有して話し合い活動が進められるようにしたい。また、話し合い活動で決まった学級全体で実践する内容について、I期の児童の振り返りノートで「協力性をもっともっと上がって、学級がよりよくなるための会議が楽しみ」「次は、いつでも助け合うだけでなく、力を合わせるという気持ちを強くしたい」等、手ごたえを感じている児童の感想も多く見受けられた。こうした児童一人一人の思いを大切にしながら、話し合い活動、実践、そして振り返りのつながりを意識して授業を展開していきたい。

6 研究主題との関連

(1) 研究主題 多様な考えを認め合う児童の育成を目指して

—学級活動における合意形成までの話し合い活動の工夫を通して—

(2) 研究主題との関連

本研究の課題を解決するために、以下の点について具体的に取り組んでいく。

① 相手を意識した聞き合い・伝え合いの工夫

交流タイムでは、交流させる内容や方法などの観点を具体的に提示することで、本時の論点に沿って話し合いが進められるようにする。さらに、挙手して発言できないと話し合いに参加した実感が持てなかったことから、話し合い活動では、相手の気持ちを考えながら、相手の意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることを意識させる。特に、意見を話すことに消極的な児童には、ヒント集を積極的に活用するよう声掛けや支援を行い、意見を伝える経験を積み重ねさせたい。また、本時の話し合いの本質に迫るような児童のつぶやきを吸い上げたり、児童同士の考えをつないだりする教師の関わり方の工夫に努めていく。

② 児童一人一人の意見を共有する工夫

話し合い活動シートを事前に書かせ、どの児童も議題について自分の考えを持って話し合い活動に参加できるようにする。タブレット端末や視聴覚機器を活用し、児童一人一人の意見を可視化したり分類したりして表示し、全体で共有できるようにする。また、話し合い活動の「まとめる」の段階では、「〇〇さんの意見で考えが変わった」「〇〇さんに自分の意見のよさを教えてもらった」等の意見を取り上げるように留意し、特に、挙手をして発言ができなかった児童の考えについても、全体の場で共有できるようにする。

③ 自分や友達のよさを実感できる振り返りの工夫

授業の最後に話し合い活動シートを活用して、本時の振り返りをする時間を設定する。また、帰りの会に、その日の出来事を振り返り、記述する時間を設定する。振り返りノートに友達のよさ、自分やの頑張りが、活動の反省等を書かせ、客観的に自分や友達のよさを見付ける力の向上を図る。

7 題材の指導と評価の計画

学期	月	話し合い活動（指導の計画）	評価基準
I 期	6	学級目標を決める ・提案理由を基に、話し合いを進める。 ・話し合いの流れを知る。（出し合う、比べ合う、まとめる）	・よりよい学級目標について真剣に考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	7	5年2組パワーアップ大作戦 ・自分の考えを相手に伝える。 ・相手の意見を尊重して聞く。 ・合意形成のプロセスを考える。 （意見を合わせる、多数決を行う等） 話し合ったことを実践しよう ・実践をし、振り返りを行う。	・自分の考えを持って話し合いに臨み、自分の考えを表現したり、相手の意見を聞いたりすることができる。【知識・技能】
	9	会社活動を振り返ろう ・自分の考えを相手に伝える。 ・相手の意見を尊重して聞く。 ・合意形成のプロセスを考える。 （意見を合わせる、多数決を行う等）	・自分の役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
II 期	10	①議題について話し合おう ②5年2組パワーアップ大作戦2 ・自分の考えを相手に伝える。 ・相手の意見を尊重して聞く。 ・合意形成のプロセスを考える。 （新しい考えを作る、意見を合わせる、優先順位を決める、少しずつ全部行う、多数決を行う等） ③話し合ったことを実践しよう ・実践し、振り返りを行う。	・自分の考えを表現したり、相手の意見のよさを理解して聞いたりすることができる。【思考・判断・表現】 ・自分の役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	1	①議題について話し合おう ②5年2組パワーアップ大作戦3 ・自分の考えを相手に伝える。 ・相手の意見を尊重して聞く。 ・合意形成のプロセスを考える。 （新しい考えを作る、意見を合わせる、優先順位を決める、条件を付ける、少しずつ全部行う、多数決を行う等） ③話し合ったことを実践しよう ・実践し、振り返りを行う。	・相手の意見を理解しようとして聞いたり、相手を意識して自分の思いを伝えようとしていたりして合意形成を図ることができる。【思考・判断・表現】 ・自分の役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	2	6年生を送る会の準備をしよう ・自分の考えを相手に伝える。 ・相手の意見を尊重して聞く。 ・合意形成のプロセスを考える。 （新しい考えを作る、意見を合わせる、優先順位を決める、条件を付ける、少しずつ全部行う、多数決を行う等）	・自分の考えを表現したり、相手の意見を聞いたりすることができる。【知識・技能】 ・自分の役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	3	お楽しみ会をしよう ・自分の考えを相手に伝える。 ・相手の意見を尊重して聞く。 ・合意形成のプロセスを考える。 （新しい考えを作る、意見を合わせる、優先順位を決める、条件を付ける、少しずつ全部行う、多数決を行う等） 話し合ったことを実践しよう ・実践し、振り返りを行う。	・相手の意見を理解しようとして聞いたり、相手を意識して自分の思いを伝えようとしていたりして合意形成を図ることができる。【思考・判断・表現】 ・自分の役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

8 本時の計画

(1) 目標

自分の考えを持って話合いに臨み、相手の意見のよさを理解しようとして聞いたり、自分の考えを表現したりしながら、解決策について話し合うことができる。

(2) 本時の指導に当たって

以下の3つの手立てを講じて、本時の指導に当たる。

① 相手を意識した聞き合い・伝え合いの工夫

全体で話し合う場面や意見を交換する場では、ヒント集や自分の考えを整理した話合い活動シートを用いて自分の考えを伝えたり、相手の意見のよさを考えながら聞いたりできるようにする。また、相手の意見に理解を示した上で心配な点を指摘したり、代案を提案したりする話合いが見られた場合には、その都度称賛し、価値付けるようにする。授業の導入場面では、学級力アンケートのチャート図を全体で確認し、児童が選んだ議題を共有することで、一人一人が必要性を感じて話合いに参加できるようにする。そして、本時の論点を学級全体で共有し、提案理由に沿った話合いを進められるようにする。Ⅰ期は、論点からずれた話合いになってしまったり、目的意識のない話合いになってしまったりした児童が若干名見受けられた。そこで、Ⅱ期は、「自分の意見との共通点、相違点を見付けながら相手の意見を聞くこと、伝えること」等の観点を与えてから、交流タイムの活動に取り組ませる。そして、自分の考えに変化を与えた考えや発言、新たなよさに気付いたこと等をタブレットの話合いカードに記録し、授業の「まとめる」の段階での振り返りに生かすことを事前に指示し、見通しを持って活動に取り組ませるようにする。

② 児童一人一人の意見を共有する工夫

事前に話合い活動シートに意見を書かせてから本時を展開する。本時では、タブレット端末を活用して、意見を共有させる場を設ける。具体的には、学習支援ソフトのアプリケーションを活用し、児童がタブレット端末を通して提出した意見を、教師が内容別に色分けして表示する。自分と同じ意見や違う意見について、視覚的に児童に知らせることで、全体の意見をスムーズに共有させながら、活動に取り組めるように工夫したい。また、交流タイムでは、交流の観点（自分の意見との共通点・相違点）を意識させながら活動が進められるようにし、自分と同じ意見の理由を確認したり、違う意見のよさを考えさせたりしながら交流を深めさせたい。「まとめる」の段階では、「〇〇さんの意見で自分の考えが変わりました」「〇〇さんの～という意見で自分の意見がよりよいと思いました」など、意見の変化や補強したことについて発言させることで、様々な児童の意見を学級全体で共有できるように工夫していく。

③ 自分や友達のよさを実感できる振り返りや評価の工夫

話合い活動シートを活用し、友達の伝え方や聞く様子が、どのように自分の意見を決めるときの参考になったかについて振り返りをさせる。また、帰りの会の振り返りノートでは、話合いの中で感じたことや考えたことをもとに振り返りをさせる。その際、自分の頑張れた点や、友達の伝え方、聞き方の良かった点などに注目させて取り組ませるようにする。

(3) 指導過程

	話合いの流れ □教師の発問 ※補助発問	○指導上の留意点 【手立て】 ・議長団への支援 □評価
導入 3分	1 学級力アンケートの結果について、前時に話し合ったことを確認する。 ※みなさんが、今日〇〇について話し合うのは、どういう目的のためですか。	○本時の議題について確認することで、本時の論点について全員で共有できるようにする。【①】 ○スクリーンを活用し、本時の論点を提示しておくことで、提案理由からずれずに話し合いを進められるようにする。
展開 ① 3分	2 議題を知る。 (1) 議長団の紹介と議題の確認 始めの言葉、議長団の紹介、議題と提案理由の確認 議題 5年2組パワーアップ大作戦2 「相手を受け入れる力（仮）」をパワーアップさせる方法を考えよう。 提案理由 みんなが安心して話ができる学級を目指すことで、もっとワラビーもち学級（学級目標）に近付くことができると思っていたから。 話し合いのめあて ・学級みんなでパワーアップの方法を考えよう。 ・全体や、交流タイムなどで友達の意見をよく聞いて、自分の考えや思いを相手に伝えよう。	○自分が考えたことを事前に話し合い活動シートに書かせることで、自分の考えを持って話し合いに参加できるようにする。【②】
展開 ② 34分	3 課題の解決策を考える。 ① 出し合う（4分） ② 比べ合う（5分） 出された解決策について、賛成意見は反対意見を述べる ※「〇〇さんの続きの思いを伝えられる人はいいますか」 ③ 交流タイムをとる。（15分） ア 同じ考えの児童と意見を交換する イ 違う考えの児童と意見を交換する	○「出し合う」「比べ合う」「まとめる」段階の順で話し合うことで、論点がずれないようにする。 ・出し合う段階なので、出された意見に対する賛成や反対の意見は取り上げないように留意させる。 ・話し合いの流れが分かる板書になるように、書記の児童に声掛けをする。 ○比べ合う段階では、児童にそれぞれの意見を選んだ理由を全体場で発言させることで、様々な考えのよさを共有できるようにする。 ○児童が発言途中に、つまづいた場合は、他の児童が続けて話せるように、児童同士の発言をつなぐようにする。 ・議題から離れた意見が集中した場合、議題や提案理由に返らせるようにする。 ○児童に、タブレット端末で自分の考えを選択して提出させることで、学級全員の意見を一目で共有できるようにする。 ○色別で意見の分布が分かるようにすることで、目的意識を持った意見交換ができるようにする。【②】 ○論点を意識させて、相手の考えとの共通点や相

	ウ 全体で共有する ④まとめる。(10分) パワーアップの方法をみんなで決めましょう。 プロセスを考えながら、合意形成を図る。	違点や、選んだ理由について聞いたり伝えたりしながら意見の交換ができるように促す。【①】 ○相手の考えを説明したり、自分の意見と違う意見のよさを考えさせたりするように促す。 ○比べる段階とは分けて、交流タイムで意見の変化や補強があったことについて、全体で共有できるようにする。【②】 □考えの違いやよさを理解しようとして聞いたり、解決策について自分の考えを表現したりしている。(観察・話し合い活動シート) ○まとめる段階に入る前に、停滞が見られたら、多数決の他にも、意見を合わせる方法や、優先順位を決める方法、条件付きで折り合いを付ける方法などがあることを知らせる。
振り返り5分	5 振り返りをする。 先生の話、話し合い活動シート	○決定した内容ではなく、集団決定できたことを称賛し価値付けする。相手の意見を受けた話し方ができた児童を称賛し、次の話し合い活動につなげる。 ○話し合い活動シートを用いて、本時の振り返りを行い、次の話し合いに生かせるようにする。【③】

(4) 本時の評価

自分の考えを持って話し合いに臨み、相手の意見のよさを理解しようとして聞いたり、自分の考えを表現したりしながら、解決策について話し合うことができたか。

(5) 準備物

児童 話し合い活動シート ヒント集 タブレット
 教師 マグネット タイマー タブレット テレビ

(6) 板書計画

まとめる	比べる	出し合う	
	・ ・ ・ × □ △ × □ △ × □ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ● ● ● ● ● ●	柱① パワーアップするために取り組むことを決める。	第○回 ワラビーもち会議 議題 5年2組パワーアップ大作戦2 「相手を受け入れる力」をパワーアップさせる方法を考えよう。 提案理由 みんなが安心して話ができる学級を目指すことで、もっとワラビーもち学級(学級目標)に近付くことができると思ったから。